

令和2年度嵐山町総合戦略検証委員会会議録（意見集約）

嵐山町総合戦略検証委員会は例年7月に開催をしておりましたが、令和2年度につきましては新型コロナウイルス感染症対策の観点から書面会議とさせていただきました。

いただいたご意見をもとに各事業の検証を行うとともに、第6次総合振興計画及び第2期総合戦略策定の参考とさせていただきます。

<検証委員からの主なご意見>

（1）雇用をつくる

- バーベキュー場やラベンダー園の充実を図り、施設を中心に町内を回遊できる施設があるとよい。お土産や野菜などを買って帰れる施設の充実も重要です。
- 女性が安心して働ける環境のため、子育て支援が必要です。
- 安定した雇用が可能な企業の誘致が必要です。
- 企業誘致は町の発展に寄与するため進めて欲しい。既存企業との連携も重要です。
- めんこ61では、通年営業が可能で田舎風な雰囲気のあるお店ができるとよい。
- らんざんDMOの組織運営に期待します。

（2）人の流れをつくる

- 土地区画整理で住宅建設が見られるなど、人口定着の実績が着実に見られます。
- 若年層がより少ない経済的負担で定住できる仕組みが必要です。
- 新型コロナウイルスの影響は残念だったが、こんな状況のときこそ、ホームページやネットの活用に一層取り組むべきです。
- ホームページのヒット数が増加しているのはよい。
- SNSの質をよくすることで、若者を中心に情報の拡散が狙え、町の知名度アップに繋がる。SNSを活用し、意見を聞く機会を設けられるとよい。
- 各テーマにおける「情報」の蓄積からのマーケティングを行い、町政に活かす。

（3）安心して結婚・出産・子育てができる社会をつくる

- アフターコロナ時代にむけて、GIGAスクール構想やオンライン授業への対応など、ICT整備に計画的に取り組んでいくべきです。
- IT化により学習環境が変わっても読む力は大切。学校図書館の充実をして欲しい。
- 都内に通勤している子育て世代の方が安心して子育てできる支援が必要です。
- 母子保健担当職員が子育て世代包括支援センターで常勤することになったのはよい。

(4) 住みよい環境をつくる

- 農地バンク事業等により耕作放棄地の減少につながっていることは評価できます。
- 駅周辺の空き家、空き店舗の利用、整備は町の発展には不可欠です（都市再生整備計画事業など国や県などの補助金の活用を検討）。
- 小中学校の再編などを視野に駅周辺の歩道の整備を進めて欲しい。
- 道路や橋りょうを適正に維持管理するための予算確保が必要です。
- 公共交通については、法改正など最新の状況を踏まえ検討して欲しい。

(5) 地域の安全・安心をつくる

- 災害時の高齢者に対しては、連携強化を検討することが必要です。
- 交通事故の防止には、注意看板の設置だけでなく事故発生要因の分析が必要です。
- 台風など災害が発生しやすい時期に合わせ避難方法などの定期的な広報が必要です。